

文学

三鷹

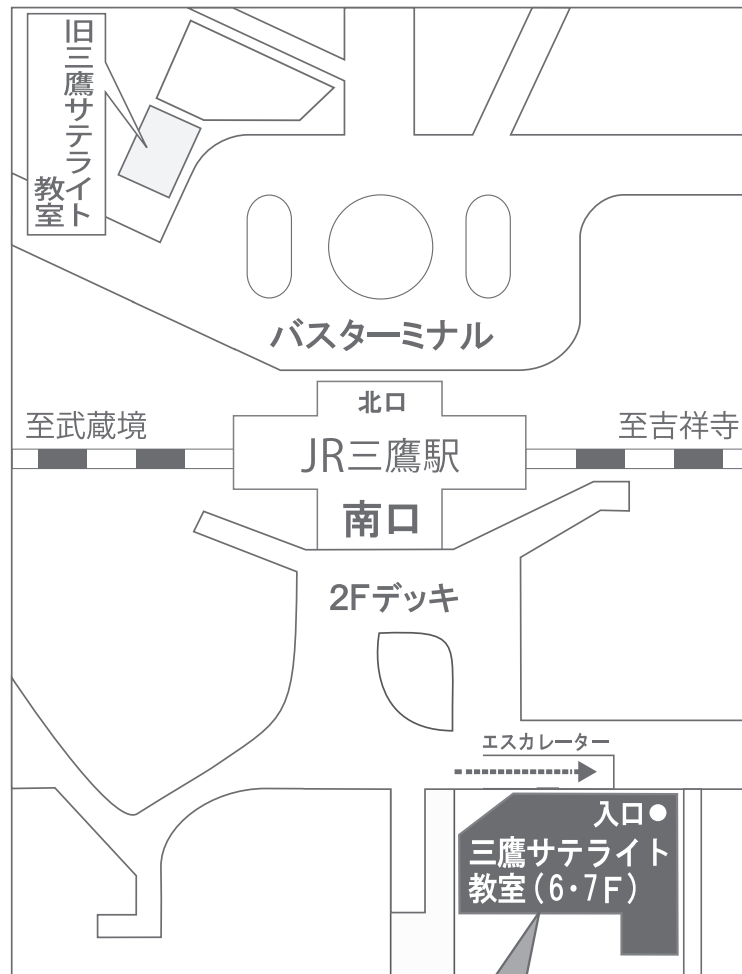
311028

## 芭蕉の連句を味わう

— 連句鑑賞入門 —

受講料 (振込額)	6,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	水曜日		日程 7月3・31日 8月28日 9月18日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全4回	定員		30名
	開講場所	三鷹サテライト教室 6F 小教室 7/3・31 7F 大教室 8/28・9/18			
講師	本学非常勤講師 永田 英理 (ながた えり)				
	武蔵野大学・白百合女子大学・早稲田大学非常勤講師。早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。専門は俳文学で、松尾芭蕉の俳諧や俳論を研究している。著書『蕉風俳論の付合文芸史的研究』(ペリかん社、2007年)、共著『連歌辞典』(東京堂出版、2010年)、『おくのほそ道』解釈事典—諸説一覧』(東京堂出版、2003年)など。				
内容	連歌や連句は、付合(つけあい)文芸と呼ばれる種類の詩です。付合文芸とは、(多くの場合)複数の作者が、五・七・五の長句と七・七の短句を交互に詠み連ねながら、次々にその世界を転じさせてゆく形式の詩のことです。これは日本文学史的にも、また広く世界を見渡してみても、きわめて特殊な文芸であるといえます。				
	現在、俳句は多くの人たちに親しまれていますが、江戸時代に先に大流行したのは、連句(俳諧)の方でした。また、芭蕉は多くの有名な発句(俳句)を詠んでいます。じつは発句よりも自分は連句の方が得意である、という自身のことばも残されています。連句を読むうえで必要な知識やルールをひと通り学んでから、芭蕉の一座した連句作品の一部を、ともに味わってみませんか? ※本講座では、連句の実作指導は行いません。連句作品と一緒に鑑賞する連句入門講座です。				
	① 7月3日: 連句とはどのような文芸か ② 7月31日: 芭蕉の連句を読んでみよう—代表句集『猿蓑その一』— ③ 8月28日: 芭蕉の連句を読んでみよう—代表句集『猿蓑その二』— ④ 9月18日: 芭蕉の連句を読んでみよう—芭蕉のさまざまな恋の付句—				

## 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

**三鷹三菱ビル 6・7 F**  
(三菱UFJ銀行のビル)

東京都三鷹市下連雀3-26-12

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。